

地元の情報紙 26年3月号 79号

# とりがい秀夫の地域ニュース

南千住8-3-3-201 電話 090(1201)1297

携帯メール torigaihideo@ezweb.ne.jp



## 保育園2園開園南千住7・8丁目 区の待機児数は都内で2番目に少ない【昨年】

一昨年の暮れから汐入胡録神社の駐車場を借りて認可保育園開設の準備が始まりました。神社本庁の許可や認可保育園を運営する会社の選定・設立のための準備などがあり、実際に8丁目の「にじの樹保育園」の工事が始まったのは昨年の12月でした。本年4月の開設に間に合うのか一時は心配されましたが何とか間に合いました。工事中の事故も遭わずに完了できたことは大変な事だったと思います。この「にじの樹保育園」の建設費は約3億3千万円で、150名の園児を預かります。この完成で4・8丁目地域の保育園の数は8園となりました。一方、南千住駅裏の7丁目の「瑞光保育園」120名の子供を預かります。これにより今年の荒川区の待機児数は更に減少する見込みです。

8丁目「にじの樹保育園」



7丁目「瑞光保育園」



### 尾久の原しだれ桜祭り実施

日時 4月5日(土)

10時~15時

雨天 5日(日)に順延

会場 都電・熊野前

模擬店など多数出店



# 区内共通お買い物券発売

## 自民党区議団が区長に要望・実現

4月からの消費増税に伴い、区内商店街の景気落ち込みや商店街の活性化を図るため臨時に「区内共通お買い物券」を売り出すことになりました。これは昨年の暮に自民党区議会議員団が区長に緊急要望し、



実現の運びとなりました。今回で7回目となりますが、過去6回の売り出しの時にみずれの商店街も数時間で売り切れた実績があります。発売方法は前回と同じで、お買い物券はステッカーのあるお店で使えます（写真参照）残念ながら今の所、汐入の三徳始めスーパーではほとんど使えませんが、ファミリーマート始めコンビニでは使える店が多くなっています。ララテラスは区内商店街には未加入のため使えません。

## 発売は5月から7月頃が有望

券は1万円で1万1,000円分となります（500円券×22枚）。べるぽーと汐入商店街やコツ通り商店街の中程の販売所で売り出します。今回の発売枚数は全部で5,000冊。これを各商店街に分けます。区としては商店街振興策のため区内共通お買い物券に500万円を補助しています。

**無料法律相談が始まります。どなたでも気軽に！**

連絡方法 弁護士に直接連絡の方 澤田事務所（3212）7987

毎月第4土曜、15～16時は荒川区に来ています

電話する時は「鳥飼の地域ニュースを見た」と言ってください

鳥飼事務所を經由しても可 090・1201・1297

# 汐入東小学校 10 教室増設 874 名

新 1 年生汐入 133 名 4 教室・東小学校 172 名 5 教室

汐入地域は子育て環境に恵まれているのか予想以上に乳幼児・児童数が増加傾向にあります。特に汐入東小学校の増加が顕著になっています。今年の卒業生は 71 名でしたが、4 月の入学式は 172 名の入学で 5 教室となります。【汐入小学校は 133 名で 4 教室】新 1 年生は 2 校で 305 名、9 教室となり東京でも有数の大規模地域となります。児童数の増加に合わせ、4 月から 10 教室分を増築して対応することになりました。この児童数の増加傾向は数年続くと、予想されています。工事費は 3 年リースで 3 億 6 0 0 0 万円。



## 「明治大学マンドリン IN 荒川演奏会」汐入地区チケット販売

演奏日 5 月 24 日(土)午後 5 時 30 分(開場 4 時 30 分)

発売場所 ラボンヌオカモト【ベルポート汐入内】

発売日 4 月 8 日 13 時～

料金 ~~2000 円~~ 1700 円(当店のみ・但し枚数に限りあり)

各建物・掲示板に掲載予定

## 「ポンテポルタ千住」4 月 18 日(金)開店

京成「千住大橋駅」前。店舗面積 14,000 m<sup>2</sup>で 5 階建て。この中にスーパー「ライフ」「ヤマダ電機」等 44 店舗が出店。駐車台数は 235 台、駐輪台数は 435 台となっています。18 日近くの新聞チラシに注目！



# 今によみがえる昭和初期の計画道路

## 汐入を通過する「川の手通り」都道314号線

この地図は今から81年前、昭和8年・神田・九段書房発行の「新大東京全圖」の一部、汐入地域を抜粋した物です。現在の8丁目は10丁目、4丁目は9丁目、7丁目は8丁目になっています。注目すべきは汐入にある「大日本紡績」【現ユニチカ】の隣は大きな入江となっています。

現在の都立汐入公園から都立産業技術高専のあたりでしょうか。本紙平成22年12月号で掲載した、【有馬記念と汐入】の中で「汐入は蛸の名所であった」と記していましたがこの辺りではないでしょうか。さて、地図の中での赤線の道路について説明します。この道路は台東区浅草を起点として足立区谷中を終点とした都道314号線です。昨年の道路命名する審議会

で、白鬚橋から堀切までを【川の手通り】と命名されました。地図を見て驚くことは、既に、今から100年ほど前に当時の道路を管理する官庁が、湿地であった汐入地区内を通過する都市計画通りを決定していたことです。歴史に「もし・・・」や「・・・していれば」はありませんが、もし、東京都が汐入の再開発を実施していなければ、この計画道路は日の目を見なかったと思うのは私だけだったでしょうか。参考までに、この地図には掲載できませんでしたが、当時は現在の台東区はなく「浅草区と下谷区」墨田区も「本所区と向島区」文京区も「小石川区と本郷区」となっていました。

